

愛寿会だより

5 月号
第 226 号
平成 30 年
5 月 10 日発行



例年より少し早く、仁生園にも桜の便りが届きました。濃いピンク、薄いピンク、そして白…いろいろな種類の桜が今年も私たちを楽しませてくれました。

ご利用者様が安心して生活できる施設を目指して

社会福祉法人 愛寿会

特別養護老人ホーム仁生園 副園長 森田 悦子



四月一日付けにて、特別養護老人ホーム仁生園副園長を拝命させて頂いた。今更な事となりまして。今回、このような大役を仰せつかりまして、責任の重大さに身の引き締まる思いです。

私は、平成八年に東京から自然豊かな北杜市へ移住しました。自宅近くにある仁生園の案内を見て、なぜか介護職とは無縁だった私が「いつか仁生園で働こう」と思ったのを覚えています。思いが叶い、平成十四年四月、家族の協力を得ながら仁生園で働く事ができるようになりました。

介護職に就いてから十六年、日々苦勞と挫折を繰り返してきましたが、助けてくれたのが入所者様や利用者様であり、また、苦勞をともにしたのが介護職の仲間でした。この方々の支援がなければ、私という存在はなかったと言っても過言ではありません。

現在、急激な少子高齢化の進行、人口減少、人手不足など社会環境が大きく変化していく

特別養護老人ホーム 仁生園

入所者様の意思及び人格を尊重し、その方の有する能力に応じて可能な限り自立した生活を送っていただけるようお手伝い致します。当施設をご利用いただけるのは、身体上、精神上障害があるために常時介護が必要な方、また在宅生活が困難である方で要介護認定の結果「要介護3」以上と認定された方が対象となります。

- ・入所定員 132名
- ・平均介護度 3.9 (平成30年4月30日現在)
- ・平均年齢 89.97歳 (平成30年4月30日現在)

中、まだまだ未熟な私がこのような大役を果たせるのだろうかという思いでいっぱいです。しかし拝命を受けた以上、誠実に福祉に向き合い、微力ではありますが常に最善を尽くす所存です。愛寿会の「三つのモットー」「七つの誓い」を守り、愛寿会で働く方々と一緒に、入所者様や利用者様が安全で安心して生活できる施設を目指してまいります。今後とも、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

福祉サービスを適切にご利用いただくために

苦情解決委員会が開催されました

平成三十年四月二十七日（金）に平成三十年度愛寿会苦情解決相談委員会が開催されました。

委員の皆様が委嘱をした後、愛寿会苦情解決相談委員会設置要綱の説明のほか、苦情及びヒヤリハット等などの報告及び協議が行われました。平成二十九年年度の苦情受付件数、相談受付件数につきまして、ともに○件であったことを報告いたしました。

「愛寿会苦情解決相談委員会」設置の目的

愛寿会が経営するすべての事業の利用に関しての苦情に対し、適切な対応を講じ、利用者個人の権利を擁護すると共に、利用者が福祉サービスを適切に利用できるように支援することとし、専門的検討を行い、もって中立公正性を確保するため、第三者委員からなる委員会を設置する。

（愛寿会苦情解決相談委員会設置要綱 第一条）



愛寿会では、ご利用者様個人の権利を擁護するとともに福祉サービスを適切に利用していただけるよう支援し、ご利用者様の満足感の向上につなげるよう努めてまいります。また、苦情を密室化せず、社会性や客観性を確保し、円滑・円満な解

決の促進、適正性の確保を図ってまいります。ご利用いただくに際しては皆様の立場になつて常に見直しを進め、さらに多くのご意見・ご要望に耳を傾け、ご期待に沿えるよう今後も一層努めてまいります。

ご相談・苦情につきましては、関係者のプライバシーは十分確保いたしますとともに、不利益となる取り扱いを行うことはございません。お気づきの点がございましたらどうぞ遠慮なくお申し出ください。

愛寿会の苦情解決相談窓口

平成三十年四月二十八日～平成三十二年四月二十七日の間の苦情解決相談窓口は、次のとおりとなっております。

◇苦情解決相談第三者委員（順不同）

- 坂本 仁 様（高根町）
- 清水 長治 様（長坂町）
- 平井 静子 様（大泉町）
- 小林 まち子 様（小淵沢町）

◇苦情解決責任者

- 清水 元義（仁生園園長）
- 小林 初男（第二仁生園園長）

◇苦情受付担当者

- 平井 光（法人事務局長）
- 森田 悦子（仁生園副園長）
- 石原 公興（第二仁生園副園長）

特別養護老人ホーム 仁生園

春のドライブへ

仁生園のある小荒間でも今年桜の開花は早かったように思っています。

四月中旬、フロアごとに春のバスハイクへ出かけました。目的地は長坂・高根・小淵沢方面です。桜や芝桜、公園のこいのぼりなどを巡ってき



ました。久しぶりの外出に表情も晴れやか。春の景色を眺めながらお茶をしたり、周囲を少し散策して季節を感じるドライブのひとつとなりました。



仁生園 デイサービスセンター

春のお茶会

四月下旬、野点が行われました。フロアには季節のお花や大きな野点傘も登場。ふと目を外に向けて、中庭の八重桜はちようど満開。とても心地の良い空間でした。

職員だけでない

ご利用者様にも着物を着ていただきました。皆様とてもお似合いです！お茶を味わい、ほっとひと息。お点前はいかがでしたか。和やかな時間となりました。



グループホーム やすらぎ

地域運営委員会が開催されました



四月十七日(火)、仁生園会議室にて平成三十年度第一回やすらぎ地域運営委員会が開催されました。

この地域運営委員会は、ご家族代表、地区代表、北杜市包括支援センターの職員、愛寿会代表二名、やすらぎ職員の計六名で構成されており、二

ヶ月に一回開催しています。

今年度より委員を務めていただく皆様に委嘱したのち、実績と活動報告がされ、課題等の検討が行われました。さまざまな立場からの貴重なご意見をいただき、今後のより良いサービス提供や運営に役立てていきます。

春を楽しむ

四月中旬、ドライブに出かけました。あつという間に満開を迎えた桜や見事な芝桜を見てきました。春を感じ、木々の緑に心躍る時間を過ごしてきました。



面をドライブ。春の景色を満喫してきました♪



ぽかぽかと春の陽が心地よい季節。この日は仁生園中庭の八重桜を眺めながら、時にはウトウト...



ボランティア活動をしていただきました



四月六日(金)、シミツクホールディングス株式会社の皆様が来園されました。各フロアに数名ずつ分かれていただき、レクリエーション活動や利用者様とコミュニケーションをとったりと積極的に参加してくださいました。

ありがとうございました。



第二仁生園 北の杜吹奏楽団 コンサート

四月十五日(日)、北の杜吹奏楽団の皆様が来園されました。馴染みの曲を用意していただき、演目の中では「花は咲く」を利用者様もフルートで参加したり、歌と詩吟と舞踊で「武田節」の演奏に参加する場面もありました。



楽器紹介では分かりやすい説明と特色ある音の披露で、生の音に感激の様子。チューバの紹介の時には、利用者の目の前に突然二人の演奏者が出て来て、その迫力ある低音に驚いている方も大勢いました。

最後は「高校三年生」に合わせて大合唱し、会場は大変盛り上がり！とても楽しいコンサートでした。



愛寿会後援会より

皆様には、日頃より愛寿会後援会へのご支援ご協力を賜りまして感謝申し上げます。愛寿会後援会は平成十九年五月に発足いたしました。発足以降、本当に多くの方々にご入会いただき、多大なご協力をいただいております。

寄せられた寄附金は、ベッドや車椅子、空気清浄機、自動おしぼり機をはじめとする、さまざまな設備・備品の整備、職員研修会の経費、ご利用者様が楽しみにしている夏祭りの経費などに充てられております。

特に、昨年度は夏祭りで使用する音響設備の整備をしていただきました。使い勝手よく、良い音質の設備にご利用者様、職員ともに大変喜び、感謝しております。



昨年の夏祭りの様子。仁生園・第二仁生園ともに盛大に開催することができました。

こうしたご支援のおかげで、ご利用者様のよりよい生活、また職員の負担軽減やスキルアップへつながっております。今後も利用者様の生活上・地域社会との交流等に活用させていただきます。日常生活が安心・安全に過ごせるよう創意工夫を凝らし、支援をしてまいります。

ぜひ、後援会へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

